

千ひきの... 立松 和平

タイを二十ひき

少ない、むじとれるのに  
わざとあえて、またつれるのに  
もつ道具を片づけた  
すくんに 変わる

季節節によってイサキ、ブリ  
量や時間は変わらない  
必要な分だけ

(五) 弟子になって 何年もたつた  
七十八年、五年  
十、十五年

瀬

おとうが死んだ  
潮の流れがはやい、もぐれない

作業はほとんど

一本づり 上達  
おぼえた  
成長した  
少したけ

自分では気づかない  
村一番の漁師 与吉じいさん

心から感謝

ここはおまえの海だ。  
たくした。まかせて  
おこい漁師、いきたい  
千ひきに「びき」  
知りつくしている  
使っている

与吉じいさんの死

自然に受け入れられた

おとうの死も

以前は受け入れ  
られなかった

ぼくも海で生きられます。

父、与吉じいさん、先祖、仲間

(六)

母

おまえが おとうの死んだ瀬にもくろと、いつ言い出すかと思うと、私はおそろしくて夜もねむれないよ、おまえの心の中が見えるよって。

何が

あったら、おとうと同じか  
 太一が死んでしまうと同じところ  
 前に父が死んだ父に似ている  
 クエを探しにくもぐり漁師に？  
 父にあこがれていたから

屈強な若者

海

こわい 危険  
 おそろしい 悲しみ

太一 自由な世界 心

忘れないにぞきろい海の子

一本づり

二十ぴきのイサキ  
 与まじい十のまらたことを守る。  
 授まつスター

父が死んだ瀬

かりを下ろす  
 父の海に飛びこむ

とていつや、また。

来たんだ  
長い間

ほぼ一年

アワビ、オガエ、ウエ、たきさん

小さい、二十キロぐらいのクエ

興味を持ってない

目的とちがう、父またおした  
 クエを探している、ようなくエ



(七)

追い求めているうちに

大ー

不意に夢は実現するものだ。

おだやか  
かがやいている

青い宝石の目

美しい 幻想的  
きれいな

光る緑色の目

漁師たち

ひとめは黒いしんじゆ

刃物のような歯

灰色のくちびる ふくらんでいて

えらと動かすたびに 大きい

岩そのものが魚のよう 水が動く

魚そのものが岩のよう

ゆうは百五十キロはこえる

すこく大きい 頼の主?

ずつと追い求めていたものが目の前に  
父をたおしたクエ、やど見つけた

興奮しながら冷静

あわては 通りすぎた

冷静になろう 危険とかけ合わせ

冷静さを 喜ぶ心味がない

思い出して 冷静でいよう

どうつかまえるか

自昇づらに向かってもりをつき出した

(八)

おとう 予さしいさ 先祖の漁師  
 ミイナの命  
 このクエの中に  
 ある

**海のいのち**

太一

笑顔を作る

**頼の主**

クエ・頼

見ていた

おたやかな自動かない 文のおく

殺された 全く動こうとはしがない

かくる

あきこめた なんでにげへんのやろ

にけるのを やさしくなってる

殺さなくてもいい 自分の方で

殺さないといい

この大魚は殺されたがっている

数限りなく魚を殺してきた

**一本っり**

自分を閉っめ直す

**海のめぐみ**

この魚をこころななければ 自然かウ

本当の一人一羽の漁師には もうついた

おとつを なれない

こえる 迷っている

泣きそうになりながら

このことに抵抗がある

殺していいの

与さしいさの考えが

またになる

ほぼえみ

こらないと決めた

もりの刀先を足の方にとけた

とる必要がなくなった

×殺さないと決めた

×殺せなかった

本当の一人一羽ではない

無理矢理 笑顔を作りました

心からではない

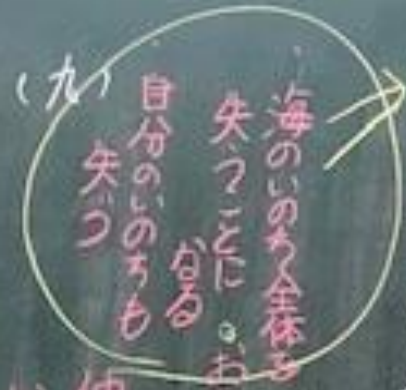


海のいのち

立松和平

太一

おとう、手吉(じいじ)



海(うみ)のいのち(いのち)を(を)失(な)つ(つ)た(た)  
 失(な)つ(つ)た(た)こと(こと)に(に)、おとう(おとう)、手吉(てきち)、じいじ(じいじ)さ(さ)、先(せん)祖(そ)の(の)いのち(いのち)  
 自(み)分(ぶん)の(の)いのち(いのち)も(も)失(な)つ(つ)た(た)  
 仲(な)間(ま)の(の)漁(り)師(し)、大(お)き(き)く(く)見(み)え(え)ん(ん)た(た)  
 い(い)の(の)ち(ち)を(を)守(ま)つ(つ)た(た)

みんな、頼(たの)の(の)主(ぬし)を(を)殺(ころ)さ(さ)な(な)か(か)つ(つ)た(た)  
 元(もと)気(き)で(で)や(や)さ(さ)し(し)い(い)子(こ)ど(ど)も(も)た(た)ち(ち)  
 太(た)一(いち)に(に)似(に)て(て)い(い)る(る)

好奇心(こうきしん)にお(お)う(う)せ(せい)い(い)  
 や(や)さ(さ)し(し)い(い)笑(わら)顔(がほ)  
 母(はは) <sup>おちち</sup>着(き)る(る)は(は)だ(だ)る(る) <sup>孫(まご)太(た)一(いち)と(と)い(い)っ(っ)し(し)よ(よ)</sup>  
 お(お)だ(だ)や(や)か(か)で(で)満(み)ち(ち)足(た)り(り)た(た) <sup>う(う)け(け)入(い)れ(れ)て(て)す(す)き(き)り(り)</sup>  
 海(うみ)の(の)ち(ち)に(に)気(き)づ(づ)く(く)た(た) <sup>ふ(ふ)っ(っ)つ(つ)う(う)の(の)暮(く)ら(ら)し(し)</sup>  
 お(お)と(と)う(う)の(の)よ(よ)う(う) <sup>美(うつく)し(し)い(い)お(お)ば(ば)あ(あ)さ(さ)ん(ん)</sup>  
 心(こころ)配(が)い(い)な(な)る(る) <sup>よ(よ)い(い)生(せい)活(くわく)</sup>  
 性(せい)格(かく)的(てき)に(に) <sup>魚(い)の(の)カ(カ)ン(カン)ラ(ラ)ム(ム)</sup>

村(むら)一(いち)番(ばん) <sup>あ(あ)り(り)続(つ)け(け)た(た)</sup>

だ(だ)れ(れ)に(に)も(も)話(わ)さ(さ)な(な)か(か)つ(つ)た(た)